

第 27 回関東選手権大会に向けて(中学校・高等学校の部編)

第 27 回関東選手権は 6 月 20 日から 22 日に開催されます。今年も多くのチームがエントリーし、白熱した大会が期待されます。

自由演技競技では、**Division1 高等学校の部**に 49 チーム、**高等学校ユースの部**に 2 チーム、**Division2 高等学校の部**に 18 チーム、**高等学校ユースの部**に 2 チーム、**Division1 中学校の部**に 17 チーム、**中学校ユースの部**に 6 チームが出場予定です。特に高等学校の部はエントリー数が最も多く、毎年各チームが創意工夫を凝らした演技を披露します。今年も熱演が繰り広げられるでしょう。（上記のチーム数には学校行事の事情により、他地区での特別出場承認チームを含みます。）

昨年度、第 26 回大会で高等学校の部優勝を果たした千葉明德高校（千葉県）は、全国大会でも常に上位の成績を収める名門校です。

今大会では、“限界を決めず、毎日の練習をやりきることを”掲げながら、スタンツ・ダンス・アームモーションの一つひとつの完成度を高め、“魅せる演技”を追求しています。

「毎日、練習できる環境や、支えてくださっている周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、‘必ず優勝’を目指して頑張ります！」と意気込んでいます。



近年では、中学生の選手のみで編成されたクラブチームの中学校の部へのエントリー数が増加し、中学校の部は、ますます盛り上がりを見せています。

昨年度の中学校の部優勝を果たした伊豆の国チアリーディングチーム（以下、伊豆の国チア・静岡県）は、JAPAN CUP2024 日本選手権の中学校部門で初優勝を成し遂げました。中学校部門でクラブチームが優勝したのは史上初の快挙で、今大会での活躍もとても楽しみなチームです。

伊豆の国チアの練習は、基礎をととても大切にしています。スタンツが上がった際のトップの姿勢だけでなく、ベース・スポッターの姿勢も美しく見せるため、ベース同士の幅や形は特に意識を向けています。また、降りた際のキャッチング姿勢では、しっかりと静止できるように細かい練習を重ねています。

「綺麗な演技を目指し、基礎を大切に練習を積み重ねています。それぞれの形を揃えることに加え、動きを揃え、一瞬で止めることを意識した日頃の成果を16人で披露したいです！ 2分30秒の様々な部分で、観客の皆さんに盛り上がって欲しいなと思っています。」とチーム名POWERFUL KIDSの通り、会場を盛り上げるパワフルな演技を披露してくれるでしょう。



本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.